

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年11月22日

計画の名称	Park-PFIを活用した旧広島市民球場跡地整備事業												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和04年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	広島市												
計画の目標	国際的な大会等のイベントが開催できるイベント広場や、観光客等が日常的に憩える洗練されたオープンスペース等を整備することで、国際平和文化都市にふさわしいにぎわいあふれる空間を創出する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,300	A	1,300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R5末)
1	Park-PFIを活用することにより、本市の費用負担を軽減(10%) 民間事業者の費用負担による市の負担軽減率を算定する。 (市の負担軽減率) = { (市が直接整備する場合の整備費) - (本事業における市の負担額) } / (市が直接整備する場合の整備費)	0%	%	10%
2	暫定措置として無料で利用可能としているイベント広場について、利用料金を徴収することとした後も現在と同等以上のイベント開催日数(60日)を確保 旧広島市民球場跡地イベント広場でのイベント開催日数を算定する。 イベントの年間開催日数	57日/年	日/年	60日/年
3	暫定措置として無料で利用可能としているイベント広場について、利用料金を徴収することとした後も現在と同等以上の年間イベント来場者数を確保(H26~H30平均:77万人 R5:82万人) 旧広島市民球場跡地イベント広場でのイベントにおける年間来場者数を算定する。 イベントの年間来場者数	77万人/年	万人/年	82万人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	広島市	直接	広島市	-	-	官民連携型賑わい拠点創出事業(中央公園)	園路、屋根付きイベント広場、便所等	広島市						1,300		-	
												小計						1,300		
												合計						1,300		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
都市整備局都市機能調整部紙屋町・八丁堀地区活性化担当で評価を実施	令和6年11月
	公表の方法
	広島市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	Park-PFIの活用により、特定公園施設（園路、広場等の公共施設）の設計・整備に係る本市の費用負担が軽減された。 新たに整備したイベント広場では、年間を通じて大小様々なイベントを定期的を開催するなど、多くの方に来場いただき、都心の新たなにぎわいづくりに取り組んでいるところである。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
誰もが訪れてみたいと感じる広島の「顔」として、都心の新たなにぎわい拠点となるよう、引き続き取り組む。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	市の負担軽減率	
	最終目標値	10%
	最終実績値	10%
2	イベント年間開催日数（1,000人 / 日以上）	
	最終目標値	60日 / 年
	最終実績値	133日 / 年
3	イベント年間来場者数（1,000人 / 日以上）	
	最終目標値	82万人 / 年
	最終実績値	120万人 / 年